

9月20日から26日は 動物愛護週間です

知っていますか？動物の「5つの自由」

人間と同じように動物にも命があり、生きていくための最低限の要求があります。人に飼育されている動物は、自らの意思でその要求を満たすことはできません。飼い主はペットの要求を満たし、健全に生活できるようにする責任があります。

5つの自由とは、動物が健全に安心して生きるための、国際的に認められている考え方です。これを機会に、ペットの飼い方について見直してみましょう。



1

飢え・渇きからの自由

ペットの種類・年齢・健康状態に合った、適切で新鮮な餌や水を与えるようにしましょう。

2

痛み・負傷・病気からの自由

普段から健康管理を心掛け、けがや病気の場合は、適切な治療を受けさせましょう。

3

不快からの自由

強い日差し、雪や雨風を避け、清潔、安全、快適な飼育場所を用意しましょう。

4

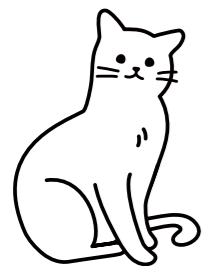
正常な行動がとれる自由

ペットの本能や習性に合った行動ができるように、飼育場所を工夫しましょう。

5

恐怖・抑圧からの自由

精神的な苦痛、過度のストレスとなる恐怖や不安を与えないようにしましょう。



ペットの熱中症に注意しましょう

まだまだ暑い日が続きます。

犬や猫は密な毛に覆われており、汗腺が足の裏などにしかありません。汗をかかない動物の体温調節は、血流の対流や呼吸による放熱がメインです。そのため、動物は体温調節が苦手な、特に暑さに弱いです。

ペットの熱中症に注意しましょう。

予防方法

- 日中の散歩は控え、早朝や夜の散歩に切り替えましょう。
- 室内で飼っている場合は、風通しに気をつけましょう。
- 外で飼っている場合は日よけを設置し、日陰に行けるようリードを長くするなど、直射日光を避ける工夫をしましょう。
- 新鮮な水をいつでも飲みたいだけ飲めるようにしましょう。

※短時間でも車の中にペットを残すことは大変危険です。



ペットを迎え、正しく飼い、そして見送る。飼い主の心構え次第で、ペットの生涯は大きく変わります。

市役所環境課(内線 234)

やとみ 歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。



弥富野鳥園

「伊勢湾台風殉難の塔」から西尾張中央道を南に進み、「鍋田」の交差点を左折すると伊勢湾岸道路の南側に緑の広がる広大な公園があります。

名古屋港の周辺は水鳥を中心とした渡り鳥の中継・休息地で、全国でも有数の野鳥の宝庫として知られています。弥富野鳥園は野鳥の保護、調査、観察などをするために園内に野鳥が生息しやすい環境を整備しています。

野鳥園では年間を通してさまざまな野鳥に出会い、その中には絶滅危惧種の鳥や他の地域ではなかなか見られない鳥も含まれます。園内に飛来する個性豊かな野鳥は、未来に残したい自然環境の豊かさの象徴となっています。



弥富野鳥園

市長の部屋



夏の蒸し暑さもだんだんと薄れ、朝晩は過ごしやすくなりました。

9月1日は「防災の日」です。1923年に関東大震災が発生した日でもあり、また、台風が発生しやすいシーズンでもあることから、地震や風水害に備えるための日として、1960年に制定されました。

本市は、1959年9月26日未曾有の高潮の被害を受けた「伊勢湾台風」以降、先人たちが幾多の水災害と闘い、強固な堤防を築き、排水機を整備したことにより、私たちは安全に安心して暮らすことができています。

しかし、スーパー伊勢湾台風や南海トラフ地震が危惧される中、いま一度、携帯や電話など通信網が混乱状態の時のご家族との連絡の取り方、避難場所、必要最低限すぐに持ち出せるものなど、この日を機にご家族で確認しておきましょう。

弥富市長 安藤正明